



広報よひた [健康づくり宣言町] 10月 No. 184 [昭和56年10月10日]

■発行／与板町(代表者与板町長平沢甚九郎)

■ 電話 (025872) 代 3100 ■

—今月のページ—

昭和55年度決算	2～4
第3回定例議会	5
生活のメモ	6・7
みしま園の職員募集	10
ひろば	12・13
グループ紹介	16

—広報“よ　い　た” 56. 10. 10発行—

- [16] -

保健婦さんの1口アドバイス

- The figure consists of eight numbered diagrams illustrating stretching exercises:

 - 1 股関節をよく曲げる**: A person lying on their back, bending one knee and pulling it towards their chest.
 - 2 脊柱腰筋に力を入れる**: A person lying on their back, arching their back and pulling their head and shoulders off the ground.
 - 3 背を反らせる**: A person lying on their stomach, arching their back.
 - 4 手を使わずに上体を起す**: A person sitting on the floor, leaning forward and then pushing up into a seated position without using their hands.
 - 5 両足を伸ばして上げる**: A person lying on their back, straightening both legs and lifting them towards the ceiling.
 - 6 立位で背を伸ばし**: A person standing, leaning forward from the waist while keeping their back straight.
 - 7 指が床につくよう十分に上体を曲げる**: A person standing, bending forward at the waist until their fingers touch the floor.
 - 8 上体を直角に曲げる**: A person standing, bending forward at the waist until their upper body is at a 90-degree angle to their legs.

腰痛体操

人間が四つ足から一本足で歩き出した時から腰と首は人類の弱点となりました。腰を守るのに一番大切なのは「腹筋と腹圧です。腹筋は天然のコルセットといわれています。腰痛を予防するために鍛練によつて強くできるのはこの腹筋だけなのです。腰痛体操は腹筋を強くし、動きの悪いところを柔かくし、縮んだ部分をひきのばします。一日数回にわけ根気よく三ヶ月以上続けて下さい。体操のあと心地よい疲労を残す程度が良い目安です。

昭和四十六年に結成以来常に新潟県の大会では上位入賞を果たし、先月行なわれました護国神社奉納統剣道大会では、児童団体優勝を果たしました。

今後の目標は、若い人を養成し、統剣道を広めていく事です。と意気盛んな会の皆さんです
入会希望者は

塙越 謙次さん（原）
二六七一まで連絡を。



三處群欽金道



若い人達にはちょっと耳慣れないスポーツかもしれないが、武道の中では一番歴史が古く、最近ようやく国体の種目にもなり、愛好者が増えてきています。

エイ、ヤアと鋭い掛け声の響きわたる体育館は、若い会員から、七十才の会員まで総勢七十名(与板支部は二十四名)の熱気で一杯。

「体力の低下も防げるし、なにより健康第一のスポーツだし、それに最近中学生が三名入ってきてくれてね」とうれしそうに語る塚越さん。

雨のち晴の今年の与板祭、子供みこしの時は、はつき雨に降られ、かわいそうでしたが、なんとか無事終了。祭が終ると同時に秋晴れの良い天気が続き、なんとも皮肉。△
昨年度の町の決算を知らせしました。町も緊縮財政に懸命に努めています。
△ 与板祭の写真、ご希望があれば広報係まで申込み下さい。おわけいた



= 人 口 =
(9月30日現在)

男……3,836人 女……4,014人
 計……7,850人(+12人)
 世帯数……1,816人(+1)

 転入……10人 転出……3人
 出生……9人 死亡……4人

一編集室一

■発行／与板町(代表者与板町長平沢甚九郎)

■電話(025872)代3100 ■

編集／与板町広報編集委員会

14億円は
こんな事に使いました

すなつぶ

昭和55年度決算

一般会計で

4,092万2千円の黒字

昭和五十五年度のわが町の“家
計簿”はどうなっているでしょうか。
去る九月町議会で、歳入歳出
決算が承認されましたのでこれら
の内容についてお知らせします。



昭和55年度の与板町の家計簿(一般会計)		
入ってきたお金		
科目	決算額	前年度増減対比
町 税	2億66,790,303円	12.4%
地方 譲 与 税	19,432,000円	6.5%
自動車取得税交付金	10,521,000円	△11.7%
地 方 交 付 税	5億75,068,000円	6.3%
交通安全対策特別交付金	490,000円	△42.4%
分担金及び負担金	21,810,298円	△0.9%
使用料及び手数料	17,272,192円	9.5%
国 庫 支 出 金	1億34,639,366円	17.9%
県 支 出 金	1億06,985,656円	18.3%
財 産 収 入	3,285,802円	△60.6%
寄 附 金	1,705,000円	30.6%
繰 越 金	54,112,022円	△43.6%
諸 収 入	68,081,091円	6.6%
町 債	2億07,600,000円	△30.5%
合 計	14億87,792,730円	(△ 5.2%)

使ったお金		
科目	決算額	前年度増減対比
議 会 費	38,508,947円	8.5%
総 務 費	1億59,745,542円	△30.3%
民 生 費	1億50,374,273円	2.9%
衛 生 費	77,300,865円	△ 0.2%
労 動 費	1億78,303,540円	1185.5%
農 林 水 産 業 費	1億00,176,388円	14.4%
商 工 費	79,259,810円	△ 0.1%
土 木 費	3億32,604,704円	18.0%
消 防 費	49,931,749円	0.2%
教 育 費	1億56,529,940円	△60.2%
公 債 費	1億23,491,143円	26.0%
諸 支 出 金	644,076円	△82.0%
災 害 復 旧 費	0円	皆 減
合 計	14億46,870,977円	(△ 4.5%)





〔勤労青少年ホーム〕

昭和五十五年度の当初予算は、前年度(五十四年度)に対し、十七・七六%増の十三億四千八百三十九万五千円で発足しましたが、その後九回の補正により、一億一千六百十九万二千円を追加し、十四億六千四百五十八万七千円の予算額となりました。決算においては、収入済額十四億八千七百七十九万三千円で予算額に対し二千三百二十万六千円の増となり、支出済額は、十四億四千六百八十七万一千円で不用額一千七百七十一万六千円で、歳入歳出差引残額は四千九十二万二千円の黒字決算となりました。一方町債発行の現在高は、国、県の施策と

相俟つて、近年急速に増嵩し、昭和五十五年度末現在の未償還残高は十三億二千三百三十二万五千円となり、平常年度の当初予算額に比肩する額となりました。このことは当然公債比率を推し上げる結果となり、今後一般事業債の発行については、慎重に考慮すべき時期を迎えております。町債依存の事業費は、一般財源の先取り支出であることに鑑み、今後は更に事業の投資効果並びに実施年度の選択等を慎重に行いながら財政的に減債基金の積立及び運用を行いながら財政の健全化を保ち計画的に各々の条件整備を推進する所存です。

わたしたち一人当たりの支出 (56.9.1現在 7,838人)



第3回 町議会定例会 九議案を議決

ままでの日程で開かれました。

までの日程で開かれました。この議会に提出された議案は、昭和五十五年度一般会計決算など九件です。慎重な審議の結果、いずれも原案どおり議決されました。その主な結果は次のとおりです。

報告第一号

「寄付金採納について」
与板町青年協議会より「泥かぶら」上演の収益として十六万三千八百七十四円を障害者福祉のために寄付。

議案第一号

「町の境界変更について」
三島町と与板町の境界変更を新潟県知事に申請。

議案第二号

「大字及び字の区域変更について」
与板町の区域内の大字及び字の区域の変更。

議案第三号

「昭和五十六年度与板町一般会計歳入歳出予算補正について」
当初予算の総額に、歳入歳出それぞれ二千四百四十三万五千円を追加し、歳入歳出予算の総額を十四億五千九百五十五万円とする。

議案第四号

「昭和五十六年度与板町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について」
歳入合計十四億八千七百七十九万二千七百三十円、歳出合計十四億四千六百八十七万九百七十七円で、歳入歳出の差引残高は四千九十二万一千七百五十三円で翌年度繰越となる。差引残高は、三千三百二十四万八千七百五十七円とな

議案第五号

「昭和五十五年度与板町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算補正について」
歳出で十万五千円の増減があるが、歳入歳出の総額は三十八万六千三百六円で変更なし。

議案第六号

「昭和五十五年度与板町一般会計歳入歳出決算の認定について」
歳入合計十四億八千七百七十九万二千七百三十円、歳出合計十四億四千六百八十七万九百七十七円で、歳入歳出の差引残高は四千九十二万一千七百五十三円で翌年度繰越となる。差引残高は、三千三百二十四万八千七百五十七円とな

議案第七号

「教育委員の任命について」
田口正雄氏(北新町)教育委員に任命される。任期は昭和六十年九月三十日

議案第八号

「監査委員の選任について」
小林金太郎氏(稻荷町)監査委員に選任される。任期は昭和六十年九月三十日

議案第九号

「昭和五十五年度与板町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について」
歳入合計三億四千九百一十七万三千三百円、歳出合計三億一千五百九十二万四千五百四十三円で、歳入歳出の予算の総額を十四億五千九百五十五万円とする。

議案第十号

議案第十一号

「昭和五十五年度与板町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について」
歳入合計三億四千九百一十七万三千三百円、歳出合計三億一千五百九十二万四千五百四十三円で、歳入歳出の予算の総額を十四億五千九百五十五万円とする。





よいたまつり

小さな目 大きな芽



与板保育園
【ひよこ組】
いしまるよしこちゃん
(2才)



与板保育園
【ひよこ組】
おおのたかひろくん
(2才)

おくら池の “へび神さま”的お社が新築



▲へび神さまをおまつり

むかし、殿さまのお蔵を守る用水池だったおくら池の「へび神さま」をおまつりしている黒龍大権現保存会（会長…中村光三さん）では、去る9月13日(日)に古くなったお社を新しくしたのを記念し、長岡の高龍様からご神体に入魂していただきました。

きれいに完成したお社に、ご神体が入り、徳昌寺の住職さんからお経をあげてもらい、町内の皆さんで「へび神さま」をおまつりしました。

よい子の成長を願って 立看板を作成

町の宝である子供たちの健かな成長を願って稻荷町の青壮年会と地域子供会では、いろいろな標語を入れた立看板を作成して、自分達の町内に掲げ、呼びかけています。

例えば、「悪い事をしている子供をつけたら他人の子供でも注意し合いましょう」等です。

この呼びかけをみんなで守り、実践するようにならう。

与板祭で 初披露!! 城山鼓友会



▲パチをもつ手にもついつい力が……

与板町にもぜひ町を代表するような太鼓を作りたいと5人の有志で始めた城山鼓友会は結成以来練習に練習を重ね、与板祭で初舞台を踏みました。「たちばな太鼓組曲、春の章・夏の章・秋の章・冬の章」の勇壮なりズムは全町に響きわたり、伝統ある登り屋台の雰囲気を十分に發揮し祭を盛り上げてくれました。

これからもたちばな太鼓を一層みがきをかけ、町の名物となるように育ってほしいものです。



▶稻荷町の仲よし子供会

塙越謙二さん(原) びわこ国体へ出場



▶出場決定の色紙を手に

10月13日より滋賀県で開かれる第36回国民体育大会「びわこ大会」に、与板町から塙越謙二さんが出場されます。

塙越さんは「銃剣道51才以上の部」に新潟県代表として出場の予定で、目下最後の調整に入っていますが「最後のチャンスだと思って、全力を出して戦ってきます」と、その決意も力強く答えてくれました。

ご健闘を期待いたします。

ひろば

与板小学校の校旗が新調



◀校旗の樹立式

大正12年に作られた今までの校旗は、約60年の間、多くの卒業生を送り出し、又数々の行事の度に掲げられ、歴史に残るかつ思い出深い校旗でしたが、長い歳月の為かなり古くなり、この度後援会の皆さんの提案と関係者のご努力により新しい校旗が作されました。

去る9月19日(土)には、小学校体育館で樹立式が行われ、出来あがったばかりのすばらしい校旗が掲げられました。

これからとの与板小学校の新しいシンボルとなる事でしょう。



佐渡を望む 「わがまち」

ずっと何年前、関の入り奥に焼却場がありました。その裏の小道を登つて行くと、急に視界がひらけ、穏やかな海の彼方に佐渡を望むことができました。初秋の風も爽やかでした。

ここに、こんな眺めがと、何度かスケッチに行きました。その後、この道は一本松峠でハイキングコースと交わる阿弥陀瀬への道と知りましたが、今はどうなっていますか。

度かスケッチに行きました。その後、この道は一本松峠でハイキングコースと交わる阿弥陀瀬への道と知りましたが、今はどうなっていますか。

文・絵 雲居立雄氏



秋詩

のぎく読書会Y·F

深い青空の下で
エンジンがうなり
交す言葉は土にうずまり
微笑が舞う。

波うつ黄金の郡は
乾いた農民の

吐息をうるおす。

この何回となくくり返される
自然の歩みの中で
自己の心の底を

陽はまばゆく飾り
色あざやかな秋の鼓動が
こぼれる稻穂に
かがやくなかでー。

農民のまなざしは知る。
ほどのほどに心身鍛えこそやかに老いを生きよと諭す子の文

人生の深い悲しみのり越えてようやくもどりし母のほえみ

彼の人の言葉諾うにあらざれば節立つ指を哀しく見つむる

俳句

呼びに出し母も日暮れし赤とんぼ
祭笛届かぬ路地や赤とんぼ
赤とんぼ捕えんとして息をのむ
赤とんぼバツと捕えて昂ぶりり

「赤蜻蛉」
呼ぶに出し母も日暮れし赤とんぼ
祭笛届かぬ路地や赤とんぼ
赤とんぼ捕えんとして息をのむ
赤とんぼバツと捕えて昂ぶりり

「露」
一揆の塚草より低し露時雨
地にひにく露の重さの萩むぐら
通夜戻り露に濡れた足袋を脱ぐ
三年忌招きの文や露時雨
火床終い軒の小草の露しとど
露の野良身なりきりりと嫁らしく

長田 芯字

高野 ユキ

清水 龍子

小林 緋沙子

「十五夜祭礼」
米沢の鉄砲隊も参加する十五夜祭礼賑々なりし
踊ユカタそろえは秋の月あかり延々づく民謡流し
屋台引く素肌に月光満々て額の汗に若さみなぎり

「八海山に登拝して」
パイル打つひびき伝ひし昼夜下り路は険しき靈山に入む
部活動終れば校舎に灯して夕映む門を騒しく出づ
「雜詠」

日まわりや臨海過疎の村の口
それとなく書架に映えあり今朝の秋
越後路に入るや満目すでに秋
越後路に入るや満目すでに秋

句

文芸欄

広報“よいた”56.10.10発行

愛の献血ありがとうございました



献血三十回以上の功労者
に県赤十字血液センターより
有功章が贈られました。
(敬称略)

献血十五回以上の協力者
に与板町献血友の会より感謝
状が贈られました。

吉岡	安達	大橋	吉田	高木	菊口
典子	正廣	多助	勝	眞島	せい子
忠夫	馬越	イツ	上町	横柳	堤
下原	下原	下原	下原	之	堤
町	町	町	町	町	町

献血十五回以上の協力者
に与板町献血友の会より感謝
状が贈られました。

献血十五回以上の協力者
に与板町献血友の会より感謝
状が贈られました。

ルーツ・よいと

◆写真で見る与板の今・昔◆

～町民運動会～

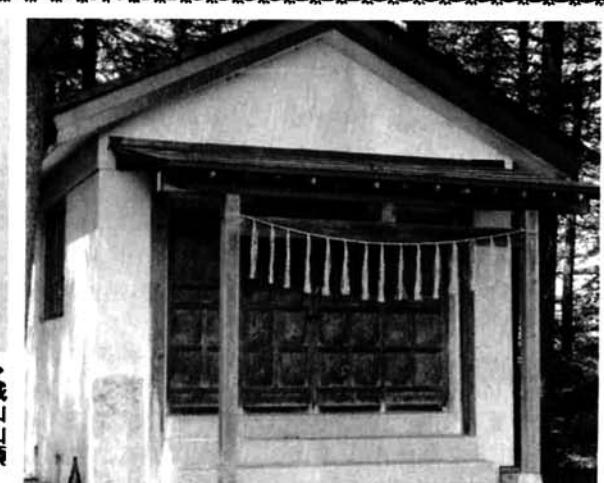


あつたつつあ物語 (4)

城山稲荷神社の由来に就いて

大移動が行なわれた様です。与板在郷の武士達は米沢を中心にして長井郡に居住したと言われます。直江氏の菩提寺徳昌寺も一緒に米沢に移り、現在米沢には愛后神社があります。

直江兼続公と板より米沢においてなる時、倉谷の住人で忠僕、田中角兵衛など故兼続公は、農民に対して非常に関心をおもちになり、「農事戒書」という書物を書いておられます。



城山山頂の稲荷社
▲薄刃包丁三点

昔、黄、時は慶長三年の事でした。当時越後の国主、上杉景勝公は時の関白豊臣秀吉公の命により会津百二十万石に転封される事となり、景勝公の執政与板城主直江山城守兼続公は米沢に移封されました。

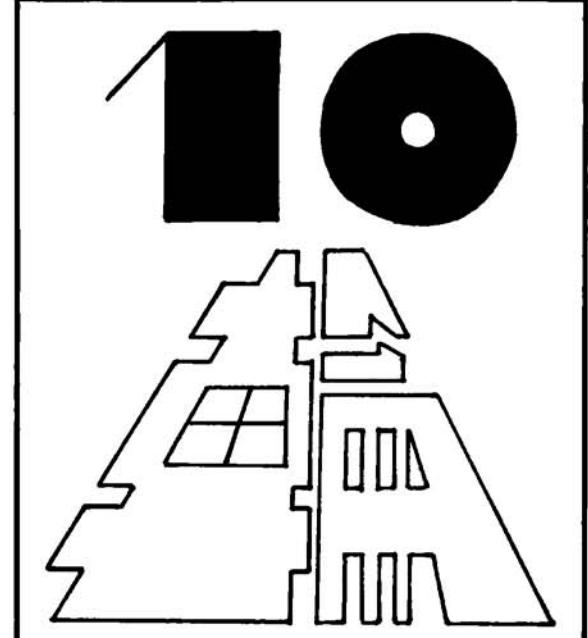
当時の大名の移封には、農民だけを残して武士を始め色々の職業人も引連れました。この薄刃包丁は中世時代のものと思われます。又、長岡の金峰神社の祭典の時に現存していると言う事は、大変珍らしい道具も同じものだと言われております。

今年の劇は、例年のように一生懸命見なくては筋がわからぬというのではなく、かなり、リラックスして見えると思います。

例年ですが、出演者が限られていきました。その役に合った者、その役のファンイキに合った者だつたんですが、今年は作品の都合もありまして半数以上の出演者があります。いかゞ役者も裏方も一緒といふ感じで当日まで走らなければならなくなりました。僕は

（青年学級）

近畿文化祭 演劇OP・R



「私とFDと与板祭」

加を成功させることができた。

私は、とても有意義なものであつた。それは、それなりに感染はあるのですが終つたあと役者に聞いてみると、やつぱり違うのだそうです。そこで

私は、とても有意義なものであつた。それは、それなりに感染はあるのですが終つたあと役者に聞いてみると、やつぱり違うのだそうです。そこで

私は、とても有意義なものであつた。それは、それなりに感染はあるのですが終つたあと役者に聞いてみると、やつぱり違うのだそうです。そこで

文化祭 演劇発表

■11月3日(火)夜

■町民体育館

劇……「灰・スクールレポート」
～ぜひ見に来て下さいネ!!～



▲全員集合



▲只今、制作中



▲リズムにのって♪